公益社団法人那覇市シルバー人材センター

令和７年度事業報告

令和７年度の日本経済は、賃上げ率が２年連続で５％を上回るなど緩やかに回復しているものの、米国の通商政策の影響により潜在成長率は伸び悩み、賃金の伸びが物価上昇に追いつかず、個人消費も力強さを欠いていると言われている。

こうした経済情勢を背景に、当センターの受託事業も民間事業所からの受注による年間の契約金額が令和６年度に比べ約 6.2%、一般家庭からの受注については約 7.4%の減少となった。一方、公共からの受注については約 4.7%増加し、規模の大きい公共の伸びを反映して、全体としては約 2.5%の増加となっている。

派遣事業については重点事業と位置付けて取り組んだものの、思うように実績を伸ばすことができなかった。実績としては、約 18.6%の増加となっている。

シルバー事業に関係する国の制度としては、令和６年 11 月１日に施行されたフリーランス法への対応として、令和７年度は年度当初から公共部門、11 月からは個人や団体等からの受注についても包括的契約への切り替えを実施した。

また、会員拡大、退会抑制策の一環として、ホームページでの就業情報の提供を始めたほか、就業が困難な会員でもシルバーに所属し続けるメリットとして会費の半額を免除したうえでボランティア活動や交流事業等に参加できるプラチナ会員制度を設けた。こうした取組の成果として、会員数については「第五次中期事業計画」に掲げる目標値の 842 人を大きく上回る 888 人という実績を挙げたが、その他の項目についてはいずれも目標値を下回っている。その最大の原因は、会員拡大と車の両輪の対をなす就業機会の拡大が明らかに不十分であったと言わざるを得ない。引き続き、派遣事業を中心に就業機会の拡大に取り組む必要がある。

1　基本方針

① 高齢者の社会参加を促進するため、高齢者の入会促進と就業機会の確保、拡大を図った。
② 安全・適正就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現に努めた。
③ 組織体制の強化及び財政基盤の強化に努めた。
④ 公益法人として、公益目的事業の推進に努めた。
⑤ ボランティア活動による地域社会への貢献に努めた。

2　数値報告（令和 8 年 3 月 31 日現在）

① 会　員　数　888 名（正会員 885 名　特別会員 3 名）（前年度 838 名）

② 就　業　率　65.2%（前年度 70.9%）

③ 就業延人員　79,319 人日（前年度 78,972 人日）

④ 派遣事業延人員　836 人日（前年度 814 人日）

⑤ ボランティア参加人数　延べ 287 名（前年度 234 名）

3　事業報告

（1）雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から引き受け、登録した高齢者に対して、請負又は委任の形式により提供した。

・受 注 件 数　1,252 件（前年度 1,331 件）

・受注契約額　487,990 千円（前年度 475,955 千円）

・就業実人員　577 人（前年度 591 人）

② 独自事業

独自事業については、実績がない。

（2）雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料職業紹介事業

有料職業紹介事業については、実績がない。

② 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣事業による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために労働者派遣事業を行った。

・登 録 会 員 数　59 人（前年度 56 人）

・就業実人員数　20 人（前年度 18 人）

・契　約　金　額　4,147 千円（前年度 3,495 千円）

・契　約　件　数　7 件（前年度 11 件）

（3）臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

・安全・適正就業推進大会における講演：安全・適正就業について

（受講者：45 名　前年度 49 名）

(4) 上記（1）～（3）の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

シルバー事業の市全域への周知、浸透を図るとともに、高齢者自身のシルバー事業に対する意識啓発を行った。

・普及活動月間の設定、啓発活動（10 月）

普及活動月間に係る「シルバーの日」の清掃ボランティア及び普及啓発等チラシ配布

・会報誌「あかぎ」の会員、関係機関への配布によるシルバー事業の普及啓発

会報誌「あかぎ」の発行　2 回

・普及活動事業における会員と市民、一般高齢者との交流活動

1. 交流ボウリング大会（開催日：令和 7 年 11 月 23 日）
2. 交流新年会（開催日：令和 8 年 1 月 30 日）
3. 交流ピクニック（開催日：令和 8 年 3 月 1 日）

② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康保持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発を行った。

・安全・適正就業推進員による指導、点検、現場巡回パトロール【随時実施】

・安全・適正就業推進委員会の組織的活動による事故防止対策の強化

安全・適正就業推進委員会　4 回（前年度 2 回）

安全強化パトロール（開催日：令和 7 年 7 月 23 日）

・安全・適正就業推進大会の開催【7 月開催】

参加人数　45 名（前年度 49 名）

・地区別安全就業勉強会の開催【3 月開催】

参加人数 204 名（小禄 82 名、首里 49 名、本庁・真和 73 名）

・「安全朝礼の日」の実施（毎月第 1 月曜日）

開催数　12 回（前年度 11 回）

③ 調査研究

毎月の事業実績を集計し、分析を行った。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の事業所、官公庁を訪問し、高齢者に相応しい仕事の開拓を行った。

・事務局職員による事業所開拓訪問

・センターホームページ、市及びセンター広報誌等の活用でセンターの PR 等による就業開拓（随時）

⑤ 企画提案方式による事業

地域社会における生活援助のニーズに対応するため、那覇市と連携した在宅の高齢者一人暮らし世帯への生活支援事業の展開により、地域力を活かした支えあいのある環境づくりを行った。

・高齢者一人暮らし世帯（介護保険適用外）の軽易な日常生活の援助事業を実施し、高齢者の健康維持を推進した。

報告受注件数

1. 福 祉 サ ー ビ ス　2 件（前年度 2 件）
2. 家事援助サービス　87 件（前年度 86 件）

⑥ 相談、情報の提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会等を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、雇用、就業等に係る相談、情報の提供を行った。

・窓口対応個別入会説明の実施

実績報告　開催数：随時　受講者数：294 名（前年度 134 名）

・出前入会説明会の実施

実績報告　開催数：8 回（前年度 5 回）　受講者数：54 名（前年度 10 名）

・就業相談日の実施

実績報告　開催数：12 回（前年度 12 回）受講者数：10 名（前年度 12 名）

・窓口及び電話対応就業相談の実施

実績報告　開催数：随時　相談者数：46 名（前年度 50 名）

⑦ 社会活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施し、社会参加活動の機会の提供を次のとおり行った。

・10 月のシルバーの日のボランティア活動

実績報告　参加人数：77 名（前年度 74 名）

・協働のまちづくり等行政機関と連携したボランティア活動

実績報告　参加人数：210 名（前年度 160 名）

1. 大石公園ゆり祭り前清掃ボランティア：延べ 39 名
2. NAHA マラソン清掃ボランティア：延べ 52 名
3. CGG（年末美化清掃ボランティア）：延べ 25 名
4. 那覇美らさくらまつり前清掃ボランティア：延べ 58 名
5. 切手ボランティア：延べ 22 名
6. スマートフォン講座講師：2 名
7. 金城小中学校周辺清掃ボランティア：12 名